

分野	意見	担当課	計画反映	回答	関連計画事業
子育て・福祉・医療	○「地域包括ケアシステムの構築」をもっと多数の課（理想は庁内全課 ※特に健康課）との共同が必須であると思う。また、他市町との兼ね合いもあるかもしれないが、館山の独自性を出していくべき。企画課の事業とのタイアップも考えていったほうが良い。 地域を支えるには、地域に住むすべての人が同じ方向をみていくことが求められると思う。子供の頃から自分が住む地域を考える機会をもつことで、転出抑制にも効果が期待できると思う。	高齢者福祉課	反映する	「地域包括ケアシステムの構築」は地域づくりであり、全庁的に取り組んでまいります。	《高齢者福祉の充実－高齢者を支える地域づくり－地域包括ケアシステムの構築》
	○一人暮らし高齢者が増え、近くに商店等がなく、買い物難民と言われる方々に対する官民連携しての取り組みを事業としたらどうか。	高齢者福祉課	反映する	「地域包括ケアシステムの構築」の中で、買い物難民について検討していきます。	《高齢者福祉の充実－高齢者を支える地域づくり－地域包括ケアシステムの構築》
	○子ども医療費の中学生3年生までの助成拡大を早期に実現してもらいたい。	こども課	反映する	通院医療費の中学校3年生までの助成拡大については、前期基本計画の中で検討していきます。	《子育て環境の充実－子育て家庭への支援の充実－子ども医療費給付事業》
	○健康寿命増進のための、「軽スポーツの推進」を健康増進事業の中に加えてはどうか。	健康課	反映する	市民が各所で、さまざまな機会に、多様なプログラムをきっかけにして、集い、触れ合い、つながることで健康寿命の延伸が達成できると考えております。 そして、軽スポーツも一つの大きな要素だと認識しておりますので、各地区での取組の一環として推進します。	《健康づくりの推進－保健活動の推進－健康増進事業》
	○母子保健事業の中で、産後ケアシステムの導入について検討して頂きたい。	健康課	反映する	母子保健事業の中において、産後ケアシステム導入に向けた調査・検討を行い、産後ケアの取組を推進します。 1. 医療機関等の空きベッドを利用し、宿泊などにより心身のケアや休養を要する母親等への支援 2. 助産師等による相談支援や、話し相手等の支援により地域での孤立感の解消 3. 行政と実施医療機関が連携し、子育てや地域の情報提供	《子育て環境の充実－妊娠・出産・子育ての一貫した支援－母子保健事業》
	○三世帯同居・近居の推進は、興味深い。おじいちゃんおばあちゃんが子守りを押しつけられるだけ、ということのないように、支援してほしい。	企画課	反映する	世代間の交流・助け合いにより、子どもを安心して生み育てられる環境を整え、若い世代が抱く出産の希望を実現できるよう、委員ご提案のとおり、前期基本計画の中で検討していきます。	《子育て環境の充実－妊娠・出産・子育ての一貫した支援－三世帯同居・近居の推進》
	○三世帯同居・近居の推進に必要な支援については、積極的に進めていただきたい。	企画課	反映する	世代間の交流・助け合いにより、子どもを安心して生み育てられる環境を整え、若い世代が抱く出産の希望を実現できるよう、委員ご提案のとおり、前期基本計画の中で検討していきます。	《子育て環境の充実－妊娠・出産・子育ての一貫した支援－三世帯同居・近居の推進》
	○日本版CCRCの導入に向けた検討は、これからの方向性として、ぜひ検討をすすめてほしい。	企画課	反映する	館山市が有する特性・地域性を活かして高齢者の方に館山市に移り住んでいただき、新しい人の流れをつくることは重要なことと考えており、前期基本計画の中で検討していきます。	《高齢者福祉の充実－高齢者を支える地域づくり－「日本版CCRC」の導入に向けた検討》
	○【追加提案事業】老人対象のサロン各地域に設置。常設・リーズナブルな値段で運営（使用料500円～1,000円程度）※学校の空き教室等を利用してもよいのでは。	高齢者福祉課	反映する	サロンについては、現在、社会福祉協議会の15支部で定期的に運営しています。 今後、個人やNPO法人等も含め、サロン事業の、より一層の充実が図られるよう社会福祉協議会とともに、支援していきます。	《高齢者福祉の充実－高齢者を支える地域づくり－社会参画・生きがい活動の促進事業》
○【追加提案事業】健康促進センター体力の維持・促進を図るため、健康器材を購入し、利用を促す（有料）※長い目で見れば医療費の減少にもなるのでは。※学校の空き教室等を利用してもよいのでは。	健康課	反映する	市内各所で、さまざまな機会に、多様なプログラムをきっかけにして、集い、触れ合い、つながることで健康維持や介護予防などにつながるものと考えております。 そして、さまざまな健康器材等も市民のインセンティブを高めるきっかけとして活用できるものであることから、その場に行きたいと思うような企画を優先的に考える上で効果的に導入します。	《健康づくりの推進－保健活動の推進－健康増進事業》	
教育・文化	○外国人観光客が急増している今、外国人向け観光地図は、「これ一枚あれば、館山市と周辺地域の観光はばっちり」という決定版を一枚つくりたい。中途半端なものには要らない。	プロモーションみなと課	反映する	平成27年度において、館山市英字観光パンフレットを制作予定であり、その中でマップを作成します。 できる限り努力しますが、紙面等の都合上、決定版とまではいかないことも考えられます。 ※基本計画に盛り込むこととしています。	《観光の振興－観光の魅力を高める資源の活用－外国人旅行者受入れ態勢等の整備》
	○先生の数は維持し、よりきめこまやかな指導を行うことで、田舎の学校でありながら、高水準の教育を提供できるように推進した方がよい。	学校教育課	一部反映する	教員の配置については、国の基準に基づき県が行っており、市町村には権限がありません。 しかしながら、館山市においては、学校規模にかかわらず、特別な支援を必要とする児童生徒への支援を行うための特別支援教育学習支援員を独自に配置することにより、きめ細やかな教育を行っているところです。 また、市独自の教職員研修を開催することにより、教職員の指導力向上に努めています。	《学校教育の充実－「生きる力」を育成する教育の推進－特別支援教育体制の推進》 《学校教育の充実－「生きる力」を育成する教育の推進－教職員研修の充実》
	○山車会館等の整備等を含め、祭礼という館山独自の文化発信により、観光面、経済活性化にもつなげる。	生涯学習課	一部反映する	山車会館等の整備等を含め、計画事業に位置付けるのは難しいと考えています。 しかしながら、祭礼文化の記録保存については、計画事業である「民俗芸能伝承者の育成」の中で、継承のための映像記録作成が含まれていますので、継承に値するものであれば対応は可能であると考えています。	《歴史の継承と文化の振興－歴史・文化の保存・継承－民俗芸能伝承者の育成》
	○市民にとって一番身近である祭礼、伝統芸能等を記録し、保存・継承に努めることにより、子どもたちのふるさとへの誇りと愛着を育み、将来の人口展望につなげ、また、地域コミュニティ形成の上でも大きな役割を持つ祭礼を通してより助け合う安全安心なまちづくりに寄与する。 また、山車会館等の整備も含め、祭礼という館山独自の文化発信により、観光面、経済活性化にもつなげる。	社会安全課	反映する	祭礼（町内会等）の拠点となる集会所改修については、市の補助メニューにより助成可能となっています。 また、御輿・太鼓等については、自治総合センターの補助メニューにより助成が可能となっています。	《地域コミュニティ活動の推進－地域コミュニティ活動の推進－コミュニティ事業の推進》
	○市民にとって一番身近である祭礼、伝統芸能等を記録し、保存・継承に努めることにより、子どもたちのふるさとへの誇りと愛着を育み、将来の人口展望につなげ、また、地域コミュニティ形成の上でも大きな役割を持つ祭礼を通してより助け合う安全安心なまちづくりに寄与する。 また、山車会館等の整備も含め、祭礼という館山独自の文化発信により、観光面、経済活性化にもつなげる。	商工観光課	反映する	以下のとおり、基本計画に盛り込むこととしています。 【事業計画】 館山観光まつりや南総里見まつり等の観光イベントを民間団体と連携して今後も開催を継続する。	《観光の振興－観光PRの強化－観光イベント事業》
○市民にとって一番身近である祭礼、伝統芸能等を記録し、保存・継承に努めることにより、子どもたちのふるさとへの誇りと愛着を育み、将来の人口展望につなげ、また、地域コミュニティ形成の上でも大きな役割を持つ祭礼を通してより助け合う安全安心なまちづくりに寄与する。 また、山車会館等の整備も含め、祭礼という館山独自の文化発信により、観光面、経済活性化にもつなげる。	プロモーションみなと課	反映する	観光パンフレットやホームページ、旅行雑誌等への記事掲載により、館山市の主要な祭礼のPRに努めています。 館山市の祭礼文化をより多くの観光客に楽しんでもらえるよう、今後も情報発信に努めていきます。 ※基本計画に盛り込むこととしています。	《観光の振興－観光PRの強化－観光情報の発信・PR》	

分野	意見	担当課	計画反映	回答	関連計画事業
教育・文化	○電子黒板は、高価なものだが、どのくらい活用されているのか、よく調査検討して欲しい。市内最大規模のH小でも、ほこりをかぶっている様子だった。	教育総務課	反映する	北条小学校の電子黒板は平成25年度末から導入されていますが、平成25～26年度は耐震工事の影響（教室の移動）で活用の機会が減少しました。今年度は工事が終了し、高頻度で使用しています。 電子黒板の有効活用については、職員の操作技能向上を図るためにICT支援員を配置すると共に、各学校のリーダー育成のために研修会を開いています。また、各学校の職員で構成した教育問題研究委員会において、様々な教科で電子黒板が有効活用できるよう、資料の作成に努めているところです。 なお、今年度、各教科のコンテンツが豊富な教材ソフトを導入し、さらに活用しやすい環境が整ってきました。	《学校教育の充実－「生きる力」を育成する教育の推進－情報教育環境の整備》
	○国際理解教育の推進について、専門の知識を持つ外部の講師を上手に使い、より建設的なカリキュラムを導入してほしい。	学校教育課	反映する	学校が行う英語教育は、国が示している学習指導要領に則って行われていますが、館山市では、英語担当教員の意向を十分に取り入れながらALTの活用を図っています。 その中で、生の英語を話す外国人に直接触れ合う機会を設けており、英語力やコミュニケーション能力の向上を図っています。 今後は、小学校における英語の教科化に向けた教職員研修の推進等により、国際理解教育の向上を図りたいと考えています。	《学校教育の充実－「生きる力」を育成する教育の推進－国際理解教育の推進》
	○今後5年間、館山の地理的要件からいっても、2020年東京オリンピック・パラリンピックを中心に政策を考えなければならない。具体案をもっと出すべき。	スポーツ課 企画課	一部反映する	前期基本計画の重点プランについては、総合戦略の基本目標の4本柱との整合を図り、「海の魅力アップ」・「食の豊かさアップ」・「若者の元気アップ」・「ふるさとへの誇りアップ」創造の4つを考えています。 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組は、「オリンピック・パラリンピックのレガシー（遺産）を見据えたまちづくり」として、「海の魅力アップ」プランの中に位置付けるとともに、スポーツ推進施策だけでなく、観光振興、健康増進にもつながる施策として取り組んでいきたいと考えています。	《スポーツの振興－スポーツを通じたまちづくりの推進－オリンピック・パラリンピックのレガシーを見据えたまちづくり》
	○新給食センターの建設に伴いアレルギー児童対応給食を導入できないか。	学校給食センター	一部反映する	学校給食におけるアレルギー対応については、現在、詳細なアレルギー献立表を対象者へ配付しております。 食物アレルギー除去食の対応については、新センター建設において整備する必要性は十分認識しておりますが、対象者への対応については、除去の組み合わせが複雑であり、確実な対応が困難であることから、アレルギー献立表による対応を継続していきます。 なお、新センター稼働当初においてはアレルギー除去対応の設備は設けませんが、アレルギー食の調理に必要なスペースは確保するなど、将来的な対応を想定した設計となるよう配慮いたします。	《学校教育の充実－教育環境の整備・充実－学校給食センターの整備・運営》 《学校教育の充実－「生きる力」を育成する教育の推進－安全対策の充実》
産業・経済	○外国人観光客が急増している今、早急に、英語表記の案内板の整備、ウェブサイトの整備をしてほしい。	商工観光課	反映する	以下のとおり、基本計画に盛り込むこととしています。 【事業計画】 観光施設案内サイン等の設置や2か国表示への更新を実施することにより周遊性を高める。	《観光の振興－観光の魅力を高める資源の活用－観光施設管理事業》
		情報課	反映する	英語だけでなく、数ヶ国語に対応した多言語化を、早期に対応すべく検討します。	《情報発信力の強化－情報発信の強化・充実－情報発信の強化・充実》
		プロモーション みなと課	反映する	英語のウェブサイトについては、限られた人員体制の中で、整備を進めていきます。 また、平成27年度において制作する館山市英字観光パンフレットをウェブサイト上でそのまま閲覧できるようにする予定です。 ※基本計画に盛り込むこととしています。	《観光の振興－観光の魅力を高める資源の活用－外国人旅行者受入れ態勢等の整備》
		企画課	反映する	2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催等を見据えた中で、必要に応じた整備を進めていきたいと考えています。	《国際交流・地域間交流の促進－国際交流・地域間交流の促進－外国語表記による情報発信》
	○館山ふるさと大使がどのくらい館山市の魅力を発信しているか明らかにすべき。	企画課	反映する	館山ふるさと大使におかれては、館山市の関連イベント等への参加以外にも、自身の活動の中でも館山市の魅力を発信していただいているが、活動が市民を含め広く周知されるよう、引き続き、館山ふるさと大使の活動について広報やホームページ等を通じて情報発信していきたいと考えています。	《観光の振興－ブランド化の推進－「館山ふるさと大使」・「館山ふるさと特使」制度による館山市のPR及び域内活動の活性化》
	○ダッペエがあまり活用されていない。よっぽど秀逸なデザインでないとならないし、個人的には、マスコットは要らないのではと思う。	プロモーション みなと課	反映する	ダッペエは、観光PRパンフレットや市の発行物への印刷及び観光キャンペーンへの着ぐるみ出演等により、観光PRや市の行事等の告知等の効果をより高めることができると考えています。 事実、観光キャンペーンについては、着ぐるみ出演により、集客効果と館山市のイメージアップに非常に役立っています。 また、若潮マラソン大会等の印刷物へのイラストの利用により、各イベントのPRにも大きな効果を発揮しています。 以上のことから、館山市マスコットキャラクター「ダッペエ」は今後も必要であると考えます。 以下に、ダッペエの具体的な活用例をお示しいたします。 ダッペエは、首都圏各地での観光プロモーション、市内の観光・スポーツイベント、文化振興イベントや地区の芸能祭など、多岐にわたる分野で着ぐるみ出演をしています（平成26年度出演案件数：115件 出演回数：186回 ※平日：45回・休日：141回）。 また、ダッペエブログによる情報発信は、毎年度、土日を除く、ほぼ毎日2～3回以上更新しており、ダッペエイラストの各種印刷物等については、平成26年度に計217回の利用実績があります。 ※基本計画に盛り込むこととしています。	《観光の振興－観光PRの強化－マスコットキャラクター活用によるプロモーション》
	○どこかからとってつけたような「恋人の聖地」の企画は、個人的にはちょっと疑問を感じる。	企画課	一部反映する	「恋人の聖地」は、NPO法人地域活性化支援センター（静岡市）が、少子化対策と地域の活性化への貢献をテーマに全国展開しているプロジェクトであり、館山市は、平成27年7月に千葉県内で5番目、安房地域で初めて選定されました。 館山市では、観光を切り口として、出会い支援などの少子化対策、地域の新たな魅力づくり、「恋人の聖地」の有する情報発信力とブランドイメージの活用による交流人口の増加等を目指し、観光協会を始めとする関係団体等と連携を深めながら、地域を挙げた取組として推進していきたいと考えています。	《移住定住の促進－移住定住の促進－出会い・婚活支援事業》
	○量販スーパーが、買い物客、パート従業員を呼ぶ。そして、地域の人件費が高騰し、小さな体力のない小売店は、従業員を雇用できなくなり、商店街「まち」は衰退する。パート雇用が増えると同時に、市の税収は減少し、財政難になる。この流れをどこかで変えなければならないため、具体的な案を出していくべき。	商工観光課	反映する	以下のとおり、基本計画に盛り込むこととしています。 【事業計画】 まちなか再生事業、商店街の環境整備の推進、商店街独自のイベント等による商店街のにぎわいづくりの取組を支援する。 【事業計画】 中小企業融資への各種助成を行い、中小企業経営の安定化を図る。	《商工業の振興－商工業の振興－地域商業活性化支援事業（中心市街地の活性化）》 《商工業の振興－商工業の振興－中小企業融資事業》

分野	意見	担当課	計画反映	回答	関連計画事業
産業・経済	○「産業・経済」の【基本施策】に「(農商工連携による)6次産業化の推進」をくわえてはどうか。	農水産課 企画課	一部反映する	今後事業を推進していくうえでは、6次産業化に積極的な農業者を把握する必要があると考えています。 現在、館山市では2次、3次産業との連携、マッチング方法等について、県6次産業化サポートセンター等と連携し事業を実施しているところです。 また、「食のまちづくり」を通じて、「規格外品」の活用などによる2次、3次産業との連携、マッチングを推進中であることから、重要施策であると認識はしているものの、あえて「6次産業化の推進」を「産業・経済」の【基本施策】に加えるところまでは考えておりません。	《農水産業の振興－農水産業の活性化－農水産物の6次産業化の推進》
基盤整備	○「花のまちづくり」を徹底してはどうか。国道沿いやグリーンベルトなど、草ぼうぼうだったりする。駅前やフラワーラインだけでなく、休耕田にコスモスやひまわりを植えてもらうのを推奨したり、商店街や道路沿いの商店などに協力を要請して、ある程度大規模に花を植栽してはどうか。	都市計画課	反映する	ご意見をいただいた「道路沿い、休耕田、商店街」への花の植栽は、「花のまち館山」のイメージ定着を図る上で、大変有効で、実施していくべきであると考えています。 前期基本計画において、道路や公共施設、民家の庭先、商店街、企業事務所、未利用農地など、あらゆる所で花の植栽が行われるよう、花の苗等の配布や休耕田などへの大規模な植栽への支援など、有効な施策を検討し、市民・行政・企業が一体となった花のまちづくりを推進します。	《公園の機能充実と緑化の推進－公園の機能充実と緑化の推進－花のまちづくりの推進》
	○商店街や道路沿いの商店などに協力を要請して、ある程度大規模に花を植栽してはどうか。	商工観光課	一部反映する	ある程度大規模な花の植栽ができれば、商店街のにぎわいづくり、商店の魅力づくりにも効果が期待できますが、商店街の歩道及び個店内にはスペースが少なく、歩行及び買物する上でも困難な状況にあることから、今後、有効な施策を検討したいと考えています。 なお、平成22年度からふるさと納税を活用し、商店街の側溝蓋の穴埋めを行い、歩行者(買物客)の安全を確保しているところです。	《商工業の振興－商工業の振興－地域商業活性化支援事業(中心市街地の活性化)》
	○域内交通について、実際に不便を感じている住民、それから将来を不安に思っている住民に聞き取り調査する。	企画課	反映する	平成26年度に公共交通アンケートを実施し、公共交通のニーズの捕捉に努めているところです。 また、引き続き、定期的に路線バスの乗降調査等も行い、住民の個別の意見を収集していきたいと考えています。	《交通体系の充実－地域交通網の維持－域内公共交通の確保・維持》
	○「域内公共交通の確保・維持」の取組みとして、「コミュニティバス導入の検討」を追加してほしい。	企画課	一部反映する	コミュニティバスについては、公共交通の施策の1つとして、その導入を検討しましたが、館山市の現状の交通体系の性質上、現時点での導入は考えておりません。 計画としては、公共交通の施策を広く選択肢とするため、案のとおりとしたいと考えています。	《交通体系の充実－地域交通網の維持－域内公共交通の確保・維持》
	○老朽化した市営住宅が非常に多く、耐震などの安全性の確保や維持管理費の負担が今後増えてくる。民間のアパートなどを借り上げ市営住宅として利用できないのか。	都市計画課	一部反映する	公営住宅等整備基準を満たす民間住宅であれば、公営住宅として借上げることも可能です。 今後は、公営住宅等ストック総合活用計画の見直し作業の中で、民間住宅を借上げる手法も検討していきます。	《住環境の充実と市街地の利便性向上－住環境の充実－市営住宅の適切な運用》
	○赤道等、法定外道路に生活道路の整備を要望する声が多く聞かれているので、予算拡充を含めて、1つの事業として位置付けできないか。	建設課	反映できない	赤道等の法定外道路は地域で密接に利用されている生活道路です。 このような状況から、赤道等法定外道路の整備等に関しては、道路維持補修事業における地区への資材交付あるいは工事発注により対応をしています。 また、上位道路となる市道は、市内の道路網を構成する重要な道路です。 市道に関する整備事業等の要望は多く、また、優先的に事業を推進する必要があります。 そのため、赤道等法定外道路については現状において1つの事業としての位置付けは考えていません。	《道路環境の充実と河川整備の促進－市道の維持管理－道路維持補修事業》
	○青柳大賀線は、費用対効果が悪いと言うよりも、人口減少・財政難の時代にはあり得ない大型工事だと考える。ゆえに「整備」ではなく「検討」と文言を変えて、船形バイパスの進捗などの情勢を見極めながら、検証すべきである。	都市計画課	反映できない	青柳大賀線については都市計画決定されており、現在施工中の船形バイパスの進捗を見極めながら整備計画に取り組みます。	《道路環境の充実と河川整備の促進－幹線道路網の整備－都市計画道路青柳大賀線の整備》
	○【追加提案事業】大型公共事業検討市民委員会設置事業 大型公共事業をゼロベースから検証する住民委員会を設置する事業。	行革財政課	反映できない	ご指摘のとおり、大型公共事業は、事業実施が中・長期にわたるケースが多々あるため、実際の受益者であり費用負担をしていただく市民の皆さまの意見を適切に反映させることは、大変重要なことです。 現在、大型公共事業の計画策定(事業着手)に際しては、住民要望・審議会(公聴会)等の市民意見を参考に、行政としての意思決定、市議会での審議を得て予算化し、事業期間中においては、随時、事業の必要性・費用対効果について市民代表としての市議会において、その検証がなされているところです。 従って、現時点では、ご指摘の住民委員会の新設(必要性)について考えておりません。	
○【追加提案事業】委託金・補助金等検討市民委員会設置事業 委託金・補助金をゼロベースで見直す住民委員会を設置する事業。	行革財政課	反映できない	前項での回答趣旨と同様 (追加)補助金・委託金等の既存事業の見直しとして、平成19年～23年に、市民公募委員による外部評価(事業仕分け)を実施するとともに、現在は、市民公募委員を含む有識者により策定した「館山市行財政改革方針」に基づき各事業の見直しを実施しています。 今後についても、同様な取組を実施していきたいと考えております。	《戦略的な行財政運営－財政の安定と健全化－行財政改革の推進》	
環境共生	○ごみ分別、減量化、再資源化については、長い目でみてとても大切なことであり、情報提供を徹底し、さらなる推進を図ってほしい。	環境課	反映する	ごみの分別・減量化・再資源化については、これまで、ごみの減量化・再資源化を図ることを目的として分別方法を変更する際に、地区ごとの説明会開催・ごみの分別方法説明チラシの全戸配布・広報及び市ホームページへの掲載・プレス発表などにより情報提供を行っています。 また、館山市で分別収集したごみの再資源化の状況は、日本容器包装リサイクル協会のホームページでご覧いただけますが、今回、市ホームページからもご覧いただけるようリンクを設定しました。 今後なお一層、情報提供の徹底、取組の推進に努めます。	《資源循環型社会の構築－資源循環型社会の構築－ごみ減量化・再資源化事業》
	○【追加提案事業】残土・汚染土・産廃等対策事業 大型の処分場計画の情報を入手した場合、各課横断で対策会議を設ける。また、処分場事業者には、公開性の高い説明会を義務付ける。	環境課	反映できない	一口に大型処分場と言っても、残土の大規模事業については県条例、残土の小規模事業については市条例、汚染土については土壌汚染対策法、産廃については廃棄物処理法と、それぞれに規制する根拠法令等があり、説明会の開催などの手続きが規定されています。 館山市においては、現状においても、それぞれの事業で市民生活に重大な影響を与える計画を入手した場合は、関連する部署が連携し対応を協議しています。 常に対策会議は設置していませんが、日頃から関連する部署間の連絡を密にし、迅速な対応に努めています。	

分野	意見	担当課	計画反映	回答	関連計画事業
防災・安全	意見なし	***	***	***	
市民参画・行政運営	○庁内の人事異動について、長期的なビジョンを掲げている課の人事については、ある程度固定化、専門職の配置をすべき。	総務課	一部反映する	職員配置については、時々の時代の要請により柔軟に対応していきたいと考えています。 平成27年4月から、館山市の地域防災力をさらに高めるため、災害対応の現場指揮経験がある防災等に関する専門家を「危機管理監」として配置しているところですが、今回の基本計画に盛り込むところまでは考えておりません。	《戦略的な行財政運営—行政組織力の充実・強化—職員の適正配置による市民サービスの向上》
	○【追加提案事業】館山アイデアコンテスト市民皆が生活に便利で有用なアイデアを出し合い、補助金を利用して商品化していく。大なり小なり、英知の結集となり、励みになる。	企画課	反映する	市民との協働によるまちづくりを推進するため、委員ご提案のような取組を検討していきます。	《市民参画の促進—市民と行政の協働体制づくり—市民と行政による協働事業の充実》
		社会安全課	反映する	市民（NPO等）への補助メニューの検討は、基本計画に盛り込むこととしています。	《市民参画の促進—市民と行政の協働体制づくり—市民と行政による協働事業の充実》
総合戦略	○＜安心して楽しめる海の魅力の向上＞の主な事業の中に、環境の観点から、河川・海域の浄化、水質検査の取り組みを記載する。家族連れ海水浴客や、マリレジャーに訪れる人々は、水質の関心度も高いのではないかと。水質の良さのPRは集客に効果的。	商工観光課	反映する	以下のとおり、基本計画に盛り込み、総合戦略事業としても位置付けています。 【事業計画】 海水浴場開設前と開設中に実施されている水質調査の結果を引き続きHP等に掲載し、安心・安全に利用できる海水浴場であることを周知する。	《観光の振興—海の魅力を活かした観光振興—海水浴場事業》
	○全体的に上手く、きれいにまとまっているが、どこか物足りないような気がする。何かインパクトの強い目玉になるような施策が欲しい。	企画課	一部反映する	館山市の強みである「海の魅力」、「食の豊かさ」を活かし、若者の移住・定住の促進、安心して生活できる環境の整備、それに基づく結婚・出産・子育ての希望の実現のために、安定した雇用の仕事を最優先に取り組みたいと考えています。	
	○講ずべき施策の設定について、5年の計画期間の中で実施する具体的な施策内容と期間のずれはあるが、前期基本計画の243の事業との整合性を図り、わかりやすい表現、模式図を作成すると良いと考える。	企画課	反映する	総合戦略で講ずべき施策、実施する事業については、前期基本計画の計画事業レベルあるいは取組内容レベルで記載しています。総合戦略と前期基本計画との整合性を図り、わかりやすい表現に努めるとともに、模式図あるいは対応表を作成していきたいと考えています。	
その他	○すべての事業に関してだが、実施スケジュールを盛り込む事はできないか。	企画課	反映できない	各計画事業については、今後5年間で実施すべきものとして挙げておりますが、事業の実施に当たっては、財政状況や社会情勢などを総合的に勘案した中で判断していきたいと考えており、具体的な実施スケジュールまでは提示しないことで考えています。	
	○情報公開・情報共有の意識が乏しく、計画の初期段階から住民に「参画」させようという姿勢が感じられない。決まる前の計画段階で情報を閉ざし、「決まったことだから従ってください」では、市民不在の市政と言わざるを得ない。	企画課	一部反映する	総合計画の策定に当たっては、総合計画審議会での審議のほか、平成25年度における各地区青年の方等との広聴会、平成26年度における市民アンケート、都市部住民向けのWebアンケート、高校生アンケート、基本構想に係るパブリックコメントの実施、平成27年度における団体ヒアリングやタウンミーティングの実施等、段階に応じて市民からのご意見・ご提案をいただくよう心掛けています。 また、小中学生を対象に、総合計画策定に係る取組として、平成26年度に作文コンクール、平成27年度に絵画コンクールを実施し、幅広い世代の参画、理解が得られるよう努めているところです。 ご指摘いただいた内容も踏まえ、今後、より多くの市民が参加いただけるよう、また、多くのご意見・ご提案がいただけるような手法を考えていきたいと考えています。	
		社会安全課	反映する	協働の重要性の啓発・周知、職員研修を推進し、意識改革を行うことについては、基本計画に盛り込むこととしています。	
	○計画事業リストの中で、重点事業が36あるが、重点とした理由や説明がほしい。また、新規事業のうちの重点事業は5しかないが、市としての5年間の特色を表す意味では、新規事業をもっと重点事業とするべきものではないのか。	企画課	一部反映する	重点事業については、現行の第3期基本計画の政策評価結果、これまで実施してきた広聴会や市民アンケート等の各種アンケート調査、団体ヒアリングの内容を踏まえ、総合的に判断して位置付けたものになります。 また、今後の5年間の特色を表すという点については、「ひと」・「しごと」・「まち」・「くらし」の4つの視点を重視した中で、総合戦略の4つの基本目標の内容と整合をとった重点プランを掲げたいと考えています。	
○各種アンケート調査等を行っているが、それらから影響、又は反映された事業等はあるのか。	企画課	反映する	現行の第3期基本計画からの継続事業としては、「保育園・こども園における保育サービスの充実」・「新たな雇用の創出」・「就業支援の強化」・「移住定住促進事業」・「域内公共交通の確保・維持」・「行財政改革の推進」などを重点事業として位置付けることとし、「地域包括ケアシステムの構築」・「コミュニティ医療推進事業」・「津波防災まちづくり事業」・「空き家対策」などを新規事業として盛り込むこととしております。		
○総合計画（案）の中で、まちづくりを進める手法の1つとして、「既存の仕組み・枠組みを越えた幅広い連携」とあるが、No.241「保健・医療・福祉に関する総合相談体制の整備」ということで、健康福祉部が担当として挙げられている新規事業等、各課を越えた、庁内の分野横断的な連携等は、今後非常に重要になると考える。よって、ただ手法の1つと表すだけでなく、連携自体を担当するような具体的な事業の位置付けがあっても良いのではないかと。	企画課	一部反映する	「既存の仕組み・枠組みを越えた幅広い連携」は複雑多様化する社会経済情勢や市民ニーズに対応するためにも必要性が高まっており、ご指摘の「保健・医療・福祉に関する総合相談体制の整備」のほか、「地域包括ケアシステムの構築」や「食のまちづくり」の推進による地域産業の活性化、「空き家対策」、人口減少等、地域課題に対応するための「広域連携の充実」などを、庁内外の連携を必要とする事業として盛り込むこととしております。		